

業 務 用 稼 働 率 別 契 約
＜ e c o 厨 ＞
(一般ガス選択約款)

2020年10月1日実施

(令和2年10月1日実施)

北海道ガス株式会社

目 次

1. 適 用	1
2. 選択約款の変更.....	1
3. 用語の定義.....	1
4. 適用条件	2
5. 契約の締結.....	2
6. 需給契約の精算額	2
7. 名義の変更.....	4
8. 契約の解消.....	4
9. 契約の解消に伴う契約中途解消精算額.....	4
10. 精算額の支払方法	5
11. その他.....	5
付 則	5
(別 表)	6

1. 適 用

- (1) この選択約款は、当社（導管部門）が定める託送供給約款の別表第1の払出エリア（特定ガス導管事業の区間を除く）で、この選択約款の適用条件を満たすお客さまにガスを供給するときの料金その他の供給条件を定めたものです。
- (2) この選択約款は、当社の一般ガス供給約款と併せて適用いたします。

2. 選択約款の変更

- (1) 当社は、この選択約款の変更を必要と判断した場合、この選択約款を変更することがあります。この場合、料金その他の供給条件は、変更後の選択約款によります。
- (2) この選択約款を変更する場合の手続きは、一般ガス供給約款を変更する場合と同様といたします。

3. 用語の定義

この選択約款に基づく契約（以下「需給契約」といいます。）において使用する用語の定義は、次のとおりです。

- (1) 「低ふく射型ガス厨房機器」とは、エネルギー源としてガスを使用し、機器表面のふく射熱を空気断熱構造により抑制し、燃焼排熱を集中排気構造により排気する厨房機器をいいます。
- (2) 「高効率給湯器」とは、エネルギー源としてガスを使用し、潜熱（ガスの燃焼により生じる水蒸気に含まれる熱エネルギーをいいます。）を回収するための熱交換器を備え、給湯熱効率が高位発熱量基準で90%以上である給湯器をいいます。
- (3) 「スチームコンベクションオーブン」とは、エネルギー源としてガスを使用し、蒸気発生装置と強制対流用送風機を備えたオーブンをいいます。
- (4) 「契約使用可能量」とは、この選択約款の適用を受ける消費機器の定格入力（キロワット）を標準熱量（メガジュール）で除し3.6を乗じた値をいいます（小数点以下切り捨て）。
- (5) 「契約月別使用量」とは、契約開始使用月から終了使用月までの需給契約で定める月別使用予定量をいいます。
- (6) 「契約年間使用量」とは、契約月別使用量の合計量をいいます。
- (7) 「契約年間引取量」とは、需給契約で定めるお客さまの1年間において引取らなければならない量をいいます。
- (8) 「契約月平均使用量」とは、契約年間使用量を12で除した量をいいます（小数点以下四捨五入）。
- (9) 「最大需要期」とは、契約期間中の12月使用分（11月検針日の翌日から12月検針日まで）、1月使用分（12月検針日の翌日から1月検針日まで）、2月使用分（1月検針日の翌日から2月検針日まで）、3月使用分（2月検針日の翌日から3月検針日まで）の4か月間をいいます。
- (10) 「契約最大需要期月平均使用量」とは、最大需要期における契約月別使用量の合計を4で除した量をいいます（小数点以下四捨五入）。
- (11) 「契約年間負荷率」とは、次の算式により算定した割合をいい、パーセントで表示します（小数点以下切り捨て）。

$$\text{契約年間負荷率} = \frac{\text{契約月平均使用量}}{\text{契約最大需要期月平均使用量}} \times 100$$

- (12) 「契約月別稼働率」とは、契約月別使用量を契約使用可能量で除したものをいい、倍で表示します（小数点第4位以下切捨て）。
- (13) 「実績月間稼働率」とは、月間の実績使用量を契約使用可能量で除したものをいい、倍で表示します（小数点第4位以下切捨て）。

(14)「単位料金」とは、一般ガス供給約款 19 に定める基準単位料金又は調整単位料金をいいます。

4. 適用条件

お客さまは、次の全ての条件を満たす場合には、当社に対して需給契約を申し込むことができます。

- (1) メーター1個につき、ガス消費量の合計が8キロワット以上の低ふく射型ガス厨房機器、または定格給湯能力の合計が32号以上の高効率給湯器、またはガス消費量の合計が10キロワット以上のスチームコンベクションオーブンが設置されていること。
- (2) 契約使用可能量が3立方メートル以上52立方メートル以下であること。
- (3) 契約年間使用量が契約使用可能量の240倍（小数点以下切り捨て）以上であること。
- (4) 契約月平均使用量が200立方メートル以上であること。
- (5) 契約年間引取量が契約年間使用量の70パーセント以上であること。
- (6) 契約年間負荷率が75パーセント以上であること。

5. 契約の締結

- (1) お客さまは、新たに需給契約を申し込む場合、又はその後の契約更新に際し契約内容を変更しようとする場合には、次の契約使用量を定め、当社と契約していただきます。
 - ① 契約使用可能量
 - ② 契約最大需要期月平均使用量
 - ③ 契約年間使用量
 - ④ 契約年間引取量
 - ⑤ 契約月平均使用量
 - ⑥ 契約月別使用量
- (2) 需給契約の期間は原則として1年間とし、適用申込書に定めていただきます。ただし、契約期間満了時においてお客さまと当社の双方が契約内容について異議のない場合には、契約はさらに1年間延長するものとし、以後これにならうものとしたします。
- (3) 需給契約の契約期間満了前に解約、又は一般ガス供給約款に基づく契約へ変更をしたお客さまが、再度同一需要場所で本契約の申し込みをする場合で、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日、又は一般ガス供給約款に基づく契約への変更の日から1年に満たない場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更又は建物の改築等のための一時不使用による場合はこの限りではありません((4)において同じ)。
- (4) 需給契約の契約期間満了前に当社の定める他の選択約款に基づく契約への変更の申し込みがされた場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。
- (5) 当社は、お客さまと当社との他の契約（既に消滅しているものを含みます。）の料金又は延滞利息を、それぞれの契約に定める支払期限日を経過しても支払われない場合は、需給契約の申し込みを承諾しないことがあります。

6. 需給契約の精算額

需給契約に関する精算額は、使用可能量倍率未達精算額、年間負荷率未達精算額、契約年間引取量未達精算額（いずれも消費税等相当額を含みます。）とし、当社は当該精算額を原則として、それぞれの未達が発生した翌月に申し受けるものとしたします。

ただし、次の（１）及び（２）が重複して生じた場合には、いずれか高いものを申し受けるものといたします。
また、精算額計算の結果、１円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。

なお、精算額に含まれる消費税等相当額は次の算式により算定いたします（小数点以下切り捨て）。

精算額に含まれる消費税等相当額＝精算額×消費税率÷（１＋消費税率）

（１）使用可能量倍率未達精算額

お客さまの年間実績使用量が、契約使用可能量の２４０倍（小数点以下切り捨て）未満の場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、使用可能量倍率未達精算額を申し受けます。

ただし、実績年間使用量が契約年間引取量未満の場合には、下記算式中の「実績年間使用量」を「契約年間引取量」と読み替えるものといたします。

$$\text{使用可能量倍率未達精算額} = \left\{ \begin{array}{l} \text{契約使用可能量の} \\ \text{240倍に相当する} \\ \text{年間使用量} \end{array} \right\} - \left\{ \begin{array}{l} \text{実 績} \\ \text{年 間} \\ \text{使用量} \end{array} \right\} \times \left\{ \begin{array}{l} \text{需給契約に定める月別} \\ \text{契約量に各月の契約月別} \\ \text{稼働率に該当する単位料金を} \\ \text{乗じたものの合計額を契約} \\ \text{年間使用量で除し、小数点} \\ \text{以下第3位を四捨五入した} \\ \text{額} \times 2 \end{array} \right\}$$

なお、この未達精算額は、当該契約年度に支払われた基本料金及び従量料金の総額とこの未達精算額との合計額が、上記の実績年間使用量に一般ガス供給約款に定める料金を適用して算定される料金総額の１０３パーセントに相当する額（小数点以下切り捨て）を超えない範囲で算定するものといたします。

（２）年間負荷率未達精算額

お客さまの実績年間負荷率〔（実績年間月平均使用量／実績最大需要期月平均使用量）×１００をいいます（小数点以下切り捨て）。〕が７５パーセント未満の場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、年間負荷率未達精算額を申し受けます。

ただし、実績年間使用量が契約年間引取量未満の場合には、下記算式中の「実績年間使用量」を「契約年間引取量」と読み替えるものといたします。

$$\text{年間負荷率未達精算額} = \left\{ \begin{array}{l} \text{負荷率75パーセ} \\ \text{ントに相当する} \\ \text{年間使用量} \end{array} \right\} - \left\{ \begin{array}{l} \text{実 績} \\ \text{年 間} \\ \text{使用量} \end{array} \right\} \times \left\{ \begin{array}{l} \text{需給契約に定める月別} \\ \text{契約量に各月の契約月別稼} \\ \text{働率に該当する単位料金を} \\ \text{乗じたものの合計額を契約} \\ \text{年間使用量で除し、小数点} \\ \text{以下第3位を四捨五入した} \\ \text{額} \times 2 \end{array} \right\}$$

なお、この未達精算額は、当該契約年度に支払われた基本料金及び従量料金の総額とこの未達精算額との合計額が、上記の実績年間使用量に一般ガス供給約款に定める料金を適用して算定される料金総額の１０３パーセン

トに相当する額（小数点以下切り捨て）を超えない範囲で算定するものといたします。

（備考）

負荷率75パーセントに相当する年間使用量は、契約期間中における実績最大需要期月平均使用量に0.75を乗じ、その量を1.2倍した量といたします。（小数点以下四捨五入）。

（3）契約年間引取量未達精算額

当社は、お客さまの年間の実績使用量が契約年間引取量に満たない場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、契約年間引取量未達精算額を申し受けます。

$$\text{契約年間引取量精算額} = \left\{ \left[\begin{array}{c} \text{契 約} \\ \text{年 間} \\ \text{引 取 量} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{c} \text{実 績} \\ \text{年 間} \\ \text{使 用 量} \end{array} \right] \right\} \times \left[\begin{array}{l} \text{需給契約に定める月別} \\ \text{契約量に各月の契約月別稼} \\ \text{働率に該当する単位料金を} \\ \text{乗じたものの合計額を契約} \\ \text{年間使用量で除し、小数点} \\ \text{以下第3位を四捨五入した} \\ \text{額} \end{array} \right]$$

7. 名義の変更

お客さま又は当社が契約期間中に第三者と合併し、又はその事業の全部若しくはこの契約に関係ある部分を第三者に譲渡する場合には、お客さま又は当社はこの契約をその後継者に継承させ、かつ後継者の義務履行を相手方に保証するものといたします。

8. 契約の解消

（1）お客さまのガス使用計画に変更がある場合、若しくは2（1）によりこの選択約款が変更された場合は、契約期間中であっても、双方協議してこの契約を解消することができるものといたします。

（2）当社に契約違反があった場合、又はお客さまに契約違反があった場合（4の適用条件を満たさなくなった場合及び6の精算額の対象に繰り返し該当している場合を含みます。）には契約期間中であっても、相互に契約を解消できるものといたします。

9. 契約の解消に伴う契約中途解消精算額

契約期間中において生じた契約の解消が、8（1）の規定によるものであって当社がやむをえないと判断した場合以外、若しくは8（2）の規定によるものであってお客さまの契約違反のみによる場合には、当社は、次のとおり契約中途解消精算額（消費税等相当額を含みます。）を申し受けます。また、精算額計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。

なお、精算額に含まれる消費税等相当額は次の算式により算定いたします（小数点以下切り捨て）。

$$\text{精算額に含まれる消費税等相当額} = \text{精算額} \times \text{消費税率} \div (1 + \text{消費税率})$$

$$\text{契約中途解消精算額} = \left[\begin{array}{l} \text{解消日の翌月から契約終了月} \\ \text{までの残存月数} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{基本料金相当額} \end{array} \right]$$

10. 精算額の支払方法

6に定める需給契約の精算額及び9に定める契約の解消に伴う契約中途解消精算額は、原則として需給契約の料金と同じ方法によりお支払いいただきます。

11. その他

その他の事項については、一般ガス供給約款を適用いたします。

付 則

1. この選択約款の実施期日

この選択約款は、2020年10月1日（令和2年10月1日）から実施いたします。

(別 表)

業務用稼働率別契約に適用する料金表

1. 適用区分

- 料金表A 実績月間稼働率が0倍から30倍までの場合に適用いたします。
料金表B 実績月間稼働率が30倍を超え、40倍までの場合に適用いたします。
料金表C 実績月間稼働率が40倍を超え、45倍までの場合に適用いたします。
料金表D 実績月間稼働率が45倍を超え、50倍までの場合に適用いたします。
料金表E 実績月間稼働率が50倍を超える場合に適用いたします。

2. 料金及び消費税等相当額の算定方法

- (1) 料金算定期間の料金は、一般ガス供給約款15の規定によりお知らせした使用量に基づき算定いたします。
(2) 料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
(3) 従量料金は、基準単位料金又は一般ガス供給約款19の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
(4) お客さまの都合や契約違反により需給契約を契約期間中に解消した場合、又はガスの使用を一時停止した場合、その月の基本料金は1か月当たりの基本料金全額とし、従量料金は(3)の従量料金に準じて算定いたします。
(5) 料金に含まれる消費税等相当額は次の算式により算定いたします(小数点以下の端数切り捨て)。

$$\text{料金に含まれる消費税等相当額} = \text{料金} \times \text{消費税率} \div (1 + \text{消費税率})$$

3. 料金表(消費税等相当額を含みます。)

(1) 基本料金

1か月につき	12,047.62円
--------	------------

(2) 基準単位料金

料金表A	1立方メートルにつき	133.43円
料金表B	1立方メートルにつき	126.77円
料金表C	1立方メートルにつき	120.12円
料金表D	1立方メートルにつき	113.46円
料金表E	1立方メートルにつき	110.91円

(3) 調整単位料金

- (2)の基準単位料金をもとに一般ガス供給約款19の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。